

令和7年度

倉吉市教育行政の点検及び評価

倉吉市教育委員会

令和8年5月

令和7年度 倉吉市の教育方針と重点施策

～行きたい学校・
帰りたい家庭・
住みたい地域～

教育基本法

- ・人格の完成と、社会の形成者としての国民の育成
- 学校教育法
- 社会教育法
- 図書館法
- 文化財保護法
- 博物館法

【教育理念】

豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり

【教育大綱】

- ・創造性を培い、豊かな心と健やかな身体を養う。
- ・幅広い知識を身に付け、自立して生きる力を養う。
- ・社会の一員として、多様な人とともに、協働する力を養う。
- ・郷土を愛し、自然を大切に、伝統や文化を尊重する態度を養う。

第12次倉吉市総合計画 まちづくりの基本理念

【将来像】

元気なまち、くらしよし、未来へ！
基本目標3【教育・文化】
未来を拓く人を育て、芸術が輝くまちづくり

倉吉市教育の創造

- ・第3期倉吉市教育振興基本計画の進ちょく管理(5年計画の5年目)・教職員の働き方改革の推進
- ・倉吉市教育委員会の活性化(教育に関する事務の点検・評価の推進、総合教育会議、学校訪問)
- ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・ICTの効果的な利活用によるDXの推進

1 社会全体が協働し学び続ける環境づくり

① 開かれた学校づくりの推進

- ・地域と共に進めるふるさとキャリア教育の実践
- ・地域学校委員会(コミュニティ・スクール)の活性化
- ・積極的な学校公開

② 家庭教育の充実

- ・地域未来塾

③ 地域力を育む社会教育の推進

- ・生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備(生涯学習講座、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座の開催)
- ・将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり(放課後子ども教室、子ども会活動の支援、ハイスクールフォーラム、実行委員会によるはたちのつどいの実施)

④ コミュニティセンター(公民館)活動の推進

- ・人づくり、地域づくりにつながる機能強化(重点取組事業の実施)

⑤ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館

- ・ベストコレクション展の開催とテーマ性のある展示の創出
- ・美術賞(菅橋彦大賞)の開催準備
- ・教育普及活動の充実と調査研究活動の推進

⑥ 豊かな心を育む図書館

- ・読書活動の推進
- ・対象者のニーズに応じたサービスの提供
- ・山上億良短歌募集事業の継続



2 創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進

⑦ 幼児教育の充実

- ・幼児期の教育と小学校教育の連携

⑧ 学力向上の推進

- ・教員の資質・能力向上のための取組
- ・学力向上の推進
- ・学習者主体の学びの研究
- ・ICTを活用した新たな学びの構築

⑨ 特別支援教育の充実

- ・支援を必要とする児童生徒を支える学校体制づくり
- ・小学校1年生対象の「読み」に対する早期支援
- ・通常学級における特別支援教育の視点を踏まえた授業づくり
- ・通級による指導の充実



3 安心・安全な教育環境の充実

⑩ 組織的・機能的な学校経営

- ・組織的・機能的な学校運営体制の確立
- ・働き方改革の推進(ハラスメント防止・部活動地域移行への協力)
- ・共同学校事務室の取組

⑪ 安心して教育を受ける機会の推進

- ・倉吉市不登校対策4つの柱をもとにした取組
- ・倉吉モデル中学校統一制服に向けた取組
- ・教育助成の充実(就学援助、特別支援教育就学奨励)
- ・奨学金制度・通学費支援(児童生徒遠距離通学)
- ・防犯、防災対策の継続

⑫ 教育環境の整備充実

- ・学校のICT化、施設の適正な維持管理

⑬ 学校の適正配置の推進

- ・今後の小中学校適正配置について方向性を検討

⑭ 文化教養施設・体育施設の整備充実

- ・施設の長寿命化 ・体育施設の整備・充実
- ・倉吉交流プラザの長寿命化



4 たくましく健やかな心と体づくりの推進

⑮ 人権尊重社会の担い手づくり

- ・「学校教育における人権教育の方針」に基づく人権教育の推進
- ・倉吉市学校教育における人権学習関連教材の実践
- ・よりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケートの活用、相談体制の充実
- ・いじめを許さない学校体制づくり ・情報モラル教育の推進

⑯ たくましい体の育成

- ・健やかな心と体の育成 ・中学校部活動地域連携地域移行
- ・子どもの年齢に応じた体力づくりの推進

⑰ 学校給食の充実、食育の推進

- ・栄養教諭などによる学校での食に関する指導
- ・親子で学ぶ食の教室の実施

⑱ 体育・スポーツの振興

- ・スポーツ活動支援(スポ少補助、スポーツ大会、全国大会補助等)
- ・生涯スポーツの推進(スポーツ推進委員、ニュースポーツ交流会)



5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興

⑲ 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

- ・地域の人・もの・ことがらに触れるふるさとキャリア教育の推進
- ・小中学生リーダー会議

⑳ 文化財の保存、活用、伝承

- ・指定文化財等の防災・防犯等適切な保護管理
- ・指定文化財等の展示、文化財を核とする講座の開設
- ・学校教育・社会教育との連携

㉑ 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館【再掲】

- ・テーマ性のある展示創出 ・教育普及活動の充実と調査活動の推進

目 次

はじめに	1
1 評価・公表について	2
2 評価に当たって	3
3 主な重点施策の成果	3
4 重点施策の実績と評価	5
・開かれた学校づくりの推進	5
・家庭教育の充実	5
・地域力を育む社会教育の推進	5
・コミュニティセンター（公民館）活動の推進	6
・「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	6
・豊かな心を育む図書館	7
・幼児期の教育の充実	8
・学力向上の推進	8
・特別支援教育の充実	9
・組織的・機能的な学校運営	9
・安心して教育を受ける機会の推進	10
・教育環境の整備充実	10
・学校の適正配置の推進	10
・文化教養施設・体育施設の整備充実	11
・人権尊重社会の担い手づくり	11
・たくましい体の育成	12
・学校給食の充実、食育の推進	12
・体育・スポーツの振興	13
・倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	14
・文化財の保存、活用、伝承	14
5 教育委員会の主な動向	15
(1) 教育長、教育委員の在任状況	15
(2) 教育委員会の会議	15
(3) 教育委員会の開催状況	15
(4) 総合教育会議の開催状況	17
(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加	18

はじめに

平成19年6月に「教育改革関連3法」の改正が行われ、その中で、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実に関する規定の整備を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。

倉吉市教育委員会では、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年に第11次倉吉市総合計画と連携した「倉吉市教育振興基本計画」を策定し、将来的な方向性や以後5年間（平成23年度～平成27年度）に重点的に取り組むべき施策を示し、平成28年には今後、一層進む少子高齢化社会に対応する教育行政をするために、「倉吉市教育振興基本計画（第2期）」（平成28年度～平成32年度）を策定して、各年度の「倉吉市の教育方針と重点施策」と「倉吉市教育行政の点検及び評価」により進行管理を行い、着実な計画の推進に努めてきました。その結果、倉吉市の教育理念「豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり」の実現を図るための様々な施策を展開することができました。

こうした中、本市の教育行政の更なる発展を見据えた次世代の教育が求められており、本市教育の目指すべき姿とその実現に向けたより実効性のある計画となるよう、教育委員会各課館所の連携を重視した「豊かな心を持ち 自立して生きる 未来を拓く 人づくり」を教育理念に掲げ、第12次倉吉市総合計画（令和3年3月策定）と連携した「倉吉市教育振興基本計画（第3期）」（令和3年度～令和7年度）を策定しました。

「倉吉市教育振興基本計画（第3期）」5年目の倉吉市教育委員会は、「社会全体が協働し学び続ける環境づくり」、「創造性を培い、自立性・自主性を養う学校教育の推進」、「安心・安全な教育環境の充実」、「たくましく健やかな心と体づくりの推進」、「文化資源の保存活用と文化・芸術の振興」を教育目標と基本施策とし、自ら設定した教育に関する方針や施策の実現を図るため、事業等の取り組み状況を日々点検・評価を行いながら改善を図り、より充実したものとなるよう努めてまいりました。

そして、市民から信頼される教育行政を目指し、教育委員会や事務局の役割、事業の進捗状況等について説明責任を果たすため、重点的に取り組んだ20項目の点検・評価を行い、その結果を公表し、効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の会議の開催などの活動状況を記載し、ここに報告書としてまとめました。

《参照》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務
その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）
を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これ
を議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 評価・公表について

(1) 実施時期

点検及び評価は毎年度行うこととされており、当該年度における取り組み状況の点検・評価を年度内に行う。

(2) 評価の方法

教育委員会全般にわたり適正な教育行政の点検・評価や総合計画に掲げた目標水準の達成状況、施策の進捗状況との整合性を図りながら評価項目を策定し、評価にあたっては、審議会等に諮り、自己評価、外部評価を行う。

(3) 議会への報告

報告書を作成し議会に提出しなければならないこととされており、6月市議会に報告を行う。

(4) 一般への公表

課題を共有化しその解決を図るために広く意見を求め、より適正な評価に努めるために評価結果を市民に公表する。

(5) 各種教育関係機関の評価結果の活用

学校評価、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体の評価結果の効果的な活用を行う。

(6) 外部の有識者等の知見の活用

○点検・評価・公表の流れ

教育委員会事務局の組織マネジメント(PDCA)及び業務評価システムの確立

P計画 → D実施 → C検証(中間評価) → A実行 → C評価(自己・最終)

4月 倉吉市の教育方針と重点施策を基にした各課の基本方針と実施計画を策定する



9月 重点施策の実施計画の進捗状況のチェックを中間評価とする。



3月上旬 重点施策の実施状況を各課で自己評価をする。



3月 各課の担当する審議会等に自己評価結果を提出し、外部評価を最終評価とする。



4月 教育委員会定例会で業務評価として協議し、6月市議会に提出・報告する。
市民へは、リーフレット、ウェブページ、市の広報誌等を活用して公表する。

2 評価に当たって

第12次倉吉市総合計画における、施策と教育委員会事務局で取り組んでいる施策との整合性を図りながら総合的な観点での評価に心がけた。評価に当たっては、令和7年度各事業の施策に示した目標に向かって、取り組むべき事業ごとに「目標」「実績」「成果」「課題」の観点に分けて行うこととした。また、評価項目については特に焦点化をはかり点検・評価の重点化を図ることとした。

○ 評価基準

成果	判断基準
A	当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	当初の目的・目標を達成した
C	当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	当初の目的・目標を大きく下回った
評価せず	感染症対策等が原因で意図に反して目標を達成できないが、下回ってもいない

3 主な重点施策の成果

区分 施策と担当課	施策数	成果				総合
		A 目的・目標を上回る	B 目的・目標を達成	C 一部の進展に止まった	D 目的・目標を下回る	
1 開かれた学校づくりの推進						
学校教育課	3	1	2			B
2 家庭教育の充実						
学校教育課	1		1			B
3 地域力を育む社会教育の推進						
社会教育課	2		2			B
4 コミュニティセンター（公民館）活動の推進						
社会教育課	1		1			B
5 「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館						
博物館	3		3			B
6 豊かな心を育む図書館						
図書館	3	1	2			B
7 幼児期の教育の充実						
学校教育課	1	1				A
8 学力向上の推進						
学校教育課	4	2	2			B
9 特別支援教育の充実						
学校教育課	4		4			B
10 組織的・機能的な学校運営						
学校教育課	3	1	2			B

区分 施策と担当課	施策数	成 果				総合
		A	B	C	D	
		目的・目標を上回る	目的・目標を達成	一部の進展に止まった	目的・目標を下回る	
11 安心して教育を受ける機会の推進						
学校教育課	2	1	1			B
教育総務課	3		3			
12 教育環境の整備充実						
教育総務課	1		1			B
13 学校の適正配置の推進						
学校教育課	1		1			B
14 文化教養施設・体育施設の整備充実						
博物館	1		1			B
社会教育課	1		1			
図書館	1		1			
15 人権尊重社会の担い手づくり						
学校教育課	5	2	3			B
16 たくましい体の育成						
学校教育課	1		1			B
社会教育課	2		2			
17 学校給食の充実、食育の推進						
学校給食センター	2		2			B
18 体育・スポーツの振興						
社会教育課	2		2			B
19 倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成						
学校教育課	2		2			B
20 文化財の保存、活用、伝承						
博物館	2		2			B
学校教育課	1		1			
社会教育課						
計	52	9	43			

令和7年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価		
Ⅰ 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	①	開かれた学校づくりの推進	1	地域と共に進めるふるさとキャリア教育の実践 学校教育課	・CHA3プログラムを2中学校にて実施。来年度も実施する方向となった。 ・ふるさとキャリア教育研修会を実施し、体系図、カリキュラムの作成について共通理解を図った。 【課題】 各小中学校で作成している体系図、カリキュラムの内容の確認。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体系図やカリキュラムの作成等を行ったことで各学校がふるさとキャリア教育の意義を再確認し、一体的推進について共通理解を深めることができた。 ・CHA3プログラムについては学校主体から地域主体へ少しずつ移行できている。 ・地域学校委員会については各学校にて計画どおりに実施できた。 ・教育を考える会も全小学校区で実施した。 ・一斉公開等にて学校公開を行い、保護者・地域の方等に来校いただいた。日々の活動についてもホームページを活用し情報提供できた。 【課題】 ふるさとキャリア教育のより一層の推進。 学校運営協議会への移行に向け、意義、目指す子どもの姿や体制づくりについて共有が必要 		
			2	地域学校委員会の活性化 学校教育課	・各学校で地域学校委員会を開催し、関係者評価もいただいた。 ・「教育を考える会」は全10小学校区で実施。 ・第2回地域コーディネーターの会を実施し、来年度「学校運営協議会」へ移行に向けた取組等について共通理解を図った。 【課題】 学校運営協議会へ移行するにあたり、教職員・委員・関係機関への周知と協議会の内容・実施方法等の共通理解。	B			
			3	積極的な学校公開 学校教育課	・各学校がホームページにて日々の活動について公開。 評価については学校だより等にて各家庭関係機関へ送付、各学校のホームページにも掲載。	B			
	②	家庭教育の充実	1	地域未来塾 学校教育課	・はばたき教室及び上井教室について、中止となった回があったが、ほぼ予定どおり実施できた。はばたき教室では、岡山大学との連携、受験対策講座など、工夫を凝らした内容を実施できた。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域未来塾について、参加生徒の学力保障につながる取組を実施することができた。 【課題】 参加希望者が増加しており、多くの生徒が参加できるような環境設定を検討する必要がある。
			1	生涯にわたる学びの保障、機会の提供と環境整備 社会教育課	・鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座は、全6回実施し、延べ402人(R6:全5回 261人)の受講者があった。 ・生涯学習講座は、デジタル技術の進展により変化する社会に対応するため、市民の「デジタル力」の向上を目指して「全5回の講座と現地研修を行った。受講者175人(R6:220人)新規受講者は30名 【課題】 ・受講者のアンケート結果からは、歴史文化等に関する学習内容へのニーズが高いが、身近にある生活課題や現代社会が抱える課題等についても学ぶ機会を提供できるよう学習内容の充実を図ることが必要。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座、鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座等を通じて、学習機会を提供し、市民の生涯学習を支援することができた。 公開講座では、地元の起業家をはじめ歴史的な人物や事象、活動について、改めて認識していただくことができた。 ・生涯学習講座では、市民に学んでほしい現代的課題等を学習テーマとしたが、参加者数は昨年度より減少した。市民が参加したくなるような工夫をし、必要課題に対する学びの機会を提供していく必要がある。 ・青少年団体や関係機関等と連携し、地域住民の参画も得ながら、青少年に対する体験活動等を通じた学習機会の提供や、はたちのつどいにおける二十歳の当事者主体の企画運営を通じて、若者同士のつながりや活躍の場を創出した。また、対話型ミーティングを今年度も実施し、若い世代が地域の人とならざるを得ないから、地域で活躍する人材の育成に取り組むことができた。 【課題】 学習活動等への参加者は増加しているが、成果指標としていた青少年のボランティアの参加回数は、目標値を達成することができなかった。 自分たちの地域は自分たちで考え動かしていく「地域力」を高めていくためには、学んだことを個人の成長や自己実現だけにとどめず、他者や地域、社会のために活かし行動できる人材を育成することが重要である。特に若い世代が地域で活躍し、自らそこに楽しさや喜びを生み出すことができる機会や仕掛けが必要である。
	③	地域力を育む社会教育の推進	2	将来の地域や社会を担う青少年の育成と活動の場づくり 社会教育課	・放課後子ども教室を16教室実施。各地区で地域の特色を生かした体験活動を中心とした事業を展開した。(参加人数延べ4千人超(前年度3千人超)) ・子ども会リーダー研修会1回、育成者・指導者研修会2回開催した。(参加者延べ22人) ・はたちのつどい出席者313人(R6:355人)、出席率72.5%。前年より2.3ポイント増。実行委員14名は、主体性を持って意見を出し合い、趣向を凝らした企画を実施した。中高生ボランティア27人が参加し運営に携わった。 ・中部ハイスクールフォーラムは、学校単位の発表に加え、地域で活動している高校生の発表を行った。高校生自ら企画立案し、地域の一員として活動する取組を地域住民等知ってもらう機会ができた。 ・若者と地域の大人が対話を通じて学び合う対話型ミーティング事業を実施した。前年度実施した西郷・小鴨地区に加えて、新たに明倫・上灘地区で実施した。(参加者:西郷36人、小鴨23人、明倫17人、上灘51人)また、NPO法人IJUの協力で開催した倉吉への移住者と地域住民が語り合うミーティングも実施した。(参加者13人)	B			

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
Ⅰ 社会全体が協働し学び続ける環境づくり				<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室が地域学校委員会における熟議に基づいた地域学校協働活動の一環として実施されるよう、仕組みづくりが必要。 ・子ども会の活動の縮小と加入団体の減少が見受けられ、支援の強化が必要。 ・はたちのつどい実行委員としての経験を活かし、地域での仲間づくりや活動など、今後の活躍につながるような仕掛けが必要。 ・対話型ミーティング事業の横展開を図り、実施地区を増やしていくことが必要。 				
	④	コミュニティセンター(公民館)活動の推進	人づくり、地域づくりにつながる機能強化	社会教育課(地域づくり支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・重点取組事業を全13地区コミュニティセンター指定管理団体に委託し実施した。 ・上北条、成徳、社、北谷、高城、小鴨、上小鴨「地域づくり講座」、西郷「地域課題対応」上井「青少年教室」、上灘「地域福祉講座」、明倫「地域活性化講座」、灘手「デジタル講座」、関金「地域振興」 <p>【課題】</p> <p>各地区で計画のもと実施された事業について、目標達成できているかどうか適切に事業評価を行い次年度に活かすこと、指標を用いた評価方法について助言し適切な評価ができるようにすることが必要。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区において、それぞれの地域課題に応じたテーマ・プログラムに沿って、地域住民を巻き込みながら課題解決につながる学習活動を行うことができた。 <p>【課題】</p> <p>事業参加者数、参画者数とも、コロナ禍後増加したが、成果指標の目標値は未達成。市民意識調査の「地域のまちづくりに意見を反映させたり、活動に参加したいと思う市民の割合」も目標値に到達できなかった。意識的に住民相互のつながりを深めながら、地域への関心を高め、自分事として関わるができるよう実施方法や内容を工夫し、地域づくりへの意欲を喚起していく事業展開が必要。</p>
	⑤	「感動」を生み「知る喜び」を感じる博物館	<p>1</p> <p>ベストコレクション展の開催とテーマ性のある展示の創出</p> <p>2</p> <p>美術賞(菅橋彦大賞)の開催準備</p> <p>3</p> <p>教育普及活動の充実と調査研究活動の推進</p>	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね予定どおり進行した。 ・県立美術館との連携を図り、美術部門では企画展2回実施した。 ・博物館顧問(田邊征夫氏)の斡旋により奈良市の巡回展・世界遺産パネル展を実施した。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストコレクション展では、開館以来50年蓄積してきた収蔵品を公開し、倉吉の歴史・文化・自然に触れていただく機会を創出した。倉吉への愛着と誇りを感じてもらった。 <p>【課題】</p> <p>博物館講座の企画立案遅れのため、広報等が開催間際となり、周知が不十分であった。</p>
			博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね当初計画どおり進行した。 	B	B		
			博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館講座は、着手時期がずれ込んだものの年10回開催し、遺産や偉人の業績等に触れる機会を作り出した。 ・自然ウォッチングは、荒天等のため2回中止となった。 	B	B		

令和7年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
I 社会全体が協働し学び続ける環境づくり	⑥ 豊かな心を育む図書館	1 読書活動の推進	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業は、個別に読み聞かせをし、絵本のプレゼントに合わせ、図書館で開催するおはなしかいの案内も行った。 ・定例開催のおはなしかいのほかに、各種団体の協力を得て、けんせつ絵本、ストーリーテリングなど工夫を凝らした様々な体験を行っていただく機会を提供できた。 ・絵本作家さいとうしのぶ子育て講演会は、中部読書活動推進フォーラム実行委員会との共催によりワークショップ・絵本ライブを開催し、絵本を楽しむ機会を提供できた。 ・昨年に引き続き夜の図書館を開催した。室内楽コンサートに耳を傾ける方、読書をする方など秋の夜長を思い思いに時間を過ごしていただいた。 ・ふれあいホリデーにあわせて、なしっこ館と共催による謎解きイベントなど3つのイベントに加え、サメ展を開催したことで親子で触れ合う姿が見られた。 ・県立美術館の企画展に合わせ関連展示を行った。 <p>【課題】 コロナ終息後における入館者数、貸出冊数の回復</p>	B		<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進するため、ブックスタート、おはなしかい等を継続するとともに、時機を捉えた展示やイベントを各機関と連携して行うなど、知的好奇心をくすぐる取組を継続していく。 ・倉吉市視覚障がい者等の読書環境整備推進計画に基づき、デジター図書体験会などを実施し、またサービスの内容を展示や市報への掲載によりサービスを必要とする人に情報が届くよう努力した。国県補助を活用し、拡大読書機や郵送サービスに係る物品を整備し、提供できるサービスの幅が広がった。また、国立国会図書館へ音訳ボランティアの協力により作成したデジター図書を全国の方に届けることができています。引き続き、関係機関と連携を図りながら計画を推進していく。
		2 対象者のニーズに応じたサービスの提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・各展示コーナーは、時機を捉え工夫しながら展示し、利用促進につなげた。 ・音読教室は、計画どおりに実施した。 ・各種相談会は、関係機関と調整しながら、計画どおり実施した。 ・放送大学出前講座、農業セミナーは、共催団体と協力し計画どおり実施した。 ・倉吉市視覚障がい者等の読書活動の整備推進計画に基づき、は～とふるサービスの内容を知っていたため、企画展示・デジター図書体験会、市報掲載を行った。音訳資料作成は、ボランティアの協力を得ながら実施し、また国立国会図書館へ作成した音声デジターを送信することにより、デジター図書の貸出につなげ、ボランティアのモチベーションアップにつなげた。また拡大読書機や郵送サービスに係る物品を購入し、新たなサービスを始めることができた。 <p>【課題】 読書バリアフリー計画のもとは～とふるサービスの周知を行う。</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・山上憶良短歌募集は、事業を継続していくための選者の体制を整えることができた。応募数は、昨年より増加し、応募作も良作が多く、全国規模の短歌募集事業となっている。永田和宏・淳・紅氏による鼎談は、大変好評であった。また、作品揮毫展(巡回展)の開催について、受賞者に案内したところ県外からの来訪につなげることができた。
		3 山上憶良短歌募集事業の継続	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・筆頭選者について、今後も短歌賞を継続していくための協議を行い、体制が整った。また、地元選者について、西部地区に対する強化を行った。 ・応募数は全国・海外から4,450首(うち市内小学生431首、中学生333首)の応募があり、昨年を1,379首上回った。 ・表彰式、永田和宏・淳・紅氏による鼎談を開催し県外からも多く参加があった。 ・揮毫展は、巡回展として4箇所(5期間)で開催した。 <p>【課題】 引き続き応募者数の増加、交流人口の増加を図るための取組を行う。</p>	A		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が、多様性を持って市民の豊かな心を育み、そして暮らしに役立つ情報の発信・提供により地域のハブとなるよう、引き続き取り組んでいく。 <p>【課題】 来館者数、貸出冊数の増加に向けた取組を推進し、対象者ニーズに応じたサービスを展開していく。 引き続き山上憶良短歌賞の応募数増のための周知取組を実施していく。</p>

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
2 創造性を 培い、 自立性・ 自主性を 養う学校 教育の推 進	⑦	幼児教育 の充実	1 幼児期の教 育と小学校 教育の連携	学校教育 課 ・倉吉市幼児教育研究会において、幼保小接続の具 体例、架け橋期の意義について示し、各校区の対話 時間を設定。全小学校区で架け橋期カリキュラム作 成完了(R7年度分) ・すこやか相談計11件あり、就学に向け保護者と話 をすることができた。	A	A	・各校区の実態に合わせたカリキュラム作成 の手順や方法を示し、研究会を開催。振り返 りと見直しを行い、来年度へ引き継いでいく 準備ができた。 ・すこやか相談では保護者の不安を伺い、小 学校入学に向けて取り組めることや情報提 供等行うことができた。	
	⑧	学力向上 の推進	1	教員の資 質・能力向 上のための 取組	学校教育 課 ・教育長および教育委員より各校教職員への指導・ 助言、指導主事から各校管理職及び研究主任への 指導・助言を実施。 ・自主セミナーを8回開催。学級経営、特別活動、生 徒指導、授業づくり等、多岐にわたる内容で開催し、 経験年数や分掌等が異なる様々な参加者が参加し た。	A	B	・学校計画訪問、授業研究会での指導助言、 各種研修会等を通じて、教員の資質能力向 上、学校運営の改善を促進した。 ・セミナーの内容を工夫したことで、参加者 の幅が広がった。 (延べ人数)①~⑦回までで45人
			2	学力向上の 推進	学校教育 課 ・個々の教員の得意分野を活かすことで、授業の質 が高まり、児童の理解度が向上した。 ・とっとり学力学習状況調査について、県教育委員 会、文部科学省と連携し、調査結果の分析活用につ いて研究。過去3年間の結果から抽出した先生の傾 向を分析しまとめた。市内学校へ広め、今後の教育 活動の推進に活用。 ・各校の共通分析シートを作成し、各校の分析等に 活用できるよう提供。 ・倉吉市プロジェクト校による取組の実践発表。	B		【課題】推進にあたり、児童の情報を先生同 士で共有することが必要となるが、その時間 を確保することが難しい。 ・授業研究会・校内研修での指導助言等 を通じて、授業改善を進めた。 (授業研究会派遣4回・校内研修会) ・中部教育局と連携し、全中学校の数学訪 問、英語訪問を実施し、授業改善につながる よう指導助言を行った。 ・全国学力・学習状況調査の結果 【小学校6年正答率%(全国比) ・国語66(-0.8) ・算数57(-1.0) 【中学校3年正答率(全国比)】 ・国語50(-4.3) ・数学42(-6.3)
			3	学習者主体 の学びの研 究	学校教育 課 「学習者主体の学び」研修会を3回開催。 西郷小学校にて、職員研修の講義2回、校内研修へ の参加。	A		・倉吉市としての考え、方向性を示した。西郷 小学校へは伴走支援を定期的に行った。
			4	ICTを活用 した新たな 学びの構築	学校教育 課 ・3ヶ月サイクルで希望時間帯に応じて、情報教育指 導員による訪問相談体制構築。 ・生成AI活用ガイドラインを作成し、学校へ周知。	B		【課題】 要望が少ない。また、授業支援等ではなく、 校務での相談が多い。職務内容を浸透させ る必要がある。

令和7年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
2 創造性を 培い、 自立性・ 自主性を 養う学校 教育の推 進	⑨	特別支援 教育の充 実	1	支援を必要とする児童生徒を支える学校体制づくり 学校教育課 ・特別支援教育主任者会では個別の支援計画、個別の指導計画の改訂について意見を集約した。来年度の改訂に繋げる。 ・就学支援委員会を開催し、園児・児童・生徒の学びの場(通常学級・特別支援学級・特別支援学校)の検討を行った。 審議件数108件。 合意形成が困難なケース3件。 ・特別支援教育アドバイザーが配置となったことで、学校・保護者・関係機関からの依頼が多数あり、内容に応じて支援を行った(181回)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援委員会委員に対して審議をするポイントについて再度共通理解を行ったことで審議の内容が深まった。 ・市内全ての小中学校で校内支援体制が整い、支援の必要な児童生徒について協議がなされている。 ・特別支援教育アドバイザー配置となったことで、学校・保護者・関係機関からのニーズに応じた助言や連携・強化を推進した。 【課題】 支援の必要な園児・児童・生徒の適切な学び場の判断基準について再度確認が必要
			2	小学校1年生対象の「読み」に対する早期支援 学校教育課 ・多層指導モデル(MIM)の検討会を実施し、現状の把握と対応について1年生の状況を確認した。結果を受け、個別に学校を訪問し指導助言を行った学校もある。	B		
			3	通常学級における特別支援教育の視点を踏まえた授業づくり 学校教育課 ・巡回にて授業の様子を参観し、指導助言を実施した。個別相談に対応し、継続して支援を行った学級もある。	B		
			4	通級による指導の充実 学校教育課 ・通級指導教室担当者にて来年度以降の運営・指導について確認することができた。 【課題】 通級指導教室の方針について、担当者のみではなく、関係者への周知。	B		
3 安心・ 安全な教 育環境の 充実	⑩	組織的・ 機能的な 学校運営	1	組織的・機能的な学校運営体制の確立 学校教育課 ・各学校が児童生徒及び保護者アンケートや地域学校委員会の評価等を行い、学校運営の改善に努め、次年度への課題を明確にした。 ・各小中学校で教職員最終面談を実施し、今年度の取組の成果と課題を明確にするとともに次年度の目標設定につなげ、教職員一人ひとりの資質向上に努めた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種調査、児童生徒及び保護者アンケート、地域学校委員会評価により、各校の課題の多面的な把握と改善を行い、組織的・機能的な学校運営を進めた。 【課題】 ・病休、休職教職員の増加、産育休取得教職員の増加等による学校運営への影響。
			2	働き方改革の推進(ハラスメント防止・部活動の地域移行への協力) 学校教育課 ・ハラスメント相談1件に対応。(継続中) ・業務量管理・健康確保措置実施計画案を策定し、次年度施行予定。 ・教職員の時間外勤務の状況は近年とほぼ同等。 ・中体連競技団体理事へアンケート及び聴き取りの実施、児童生徒及び保護者アンケートの実施、倉吉市PTA連合会役員への聴き取りを実施。	B		
			3	共同学校事務室の取組 学校教育課 ・学校徴収金システムについては、昨年度事業者が決定し、今年度から原則口座振による徴収を開始した。共同学校事務室の徴収金検討会で年6回にわたり事務処理のルールづくりや課題解決を行った。	A		

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
3 安心・安全な教育環境の充実	⑪	安心して教育を受ける機会の推進	1	倉吉市不登校対策4つの柱をもとにした取組 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策4つの柱を軸に、学校、中部子ども支援センター、SSWrなどが連携を図りながら、不登校児童生徒への支援など取組を進めた。 ・生徒指導主任者会を開催し、アセスメント及びプランニングに関する内容を中心に各校へ浸透が進んだ。 ・校内サポート教室を3校設置し、取組を進めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 【不登校児童生徒出現率】 小2.59%(1月末) 中9.32%(1月末) 【課題】 不登校児童生徒出現率は依然高い状況が続いており、対策が必要である。 ・制服採寸までスムーズに行うことができた。令和8年度より統一制服を導入する。 ・援助を必要とする児童生徒の保護者に対し、遅滞なく支給して保護者の負担軽減が図れた。 【課題】 制度について、今後も子ども支援センターと連携して周知を図る。 ・奨学金、遠距離通学費の支援を必要とする者に対し、遅滞なく支給して負担軽減が図れた。 【課題】 今後も適正な事務処理を行い、継続して制度の周知を徹底する。 【課題】 ・今後も必要に応じた防犯カメラの設置を小中学校に設置していく。
			2	倉吉モデル中学校統一制服導入に向けた取組 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店での採寸が開始され、順調に進んでいる。 ・久米中校区同研において、制服導入までの流れ・思い等を説明した。 	A	
			3	教育助成の充実(就学援助、特別支援教育就学奨励) 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・学用品費、校外活動費、修学旅行費等の支給を遅滞なく行った。 ・年度末には新1年生の児童・生徒の保護者に対し新入学児童生徒学用品費を支給し保護者の負担軽減を図った。 ・特別支援学級の児童生徒の保護者に対し支援を行い負担軽減を図った。 	B	
			4	奨学金制度・通学費支援(児童生徒遠距離通学) 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の貸与について、遅滞なく支払いできた。納期を過ぎて返還する者には、継続した連絡をとり納入を促している。 ・児童生徒遠距離通学費助成は、学校と協力して計画どおり補助申請を受け、延滞なく交付決定し助成できた。 	B	
			5	防犯、防災対策の継続 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた工事は概ね計画通り執行し、防犯対策の強化を図った。 <p>(課題) 小中学校の必要な場所に防犯カメラの増設を検討</p>	B	
	⑫	教育環境の整備充実	1	学校のICT化、学校施設の適正な維持管理 教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に基づくR8の端末更新については、予定どおり進捗している。 ・小学校のLED照明の設置が完了した。 ・小中学校の特別教室エアコン整備を実施し予定どおり完了した。 <p>(課題) 特別教室等のエアコン整備を計画的に進める。ホワイトボード化を年次的に実施する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と協議し、危険性のある箇所を優先して工事執行した。 ・安心安全な教育環境の整備を計画どおりに実施した。 ・R7年度は新たに民間プールの利用や温水プールを利用した試行と検証を重ね、R8年度に市内全小中学校の水泳学習の在り方の方針を決定する。 【課題】 学校施設の適正な維持管理のため長寿命化計画の見直し、学校適正配置も加味しながら計画の再検討が必要である。
			1	今後の適正配置のあり方について方向性を検討 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育審議会で、適正配置の在り方に係る検討を進める目的、今後のスケジュール、倉吉市立小・中学校適正配置推進計画について説明した。 	B	
	⑬	学校の適正配置の推進	1	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を計画通りに実施でき、様々な立場の委員に今までの適正配置の進め方について理解いただけたと共に、諮問後の協議に向け意識を高めていただいた。 <p>【課題】市教委としての適正配置の見直しを検討する必要がある。</p>	B	B

令和7年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
3 安心 ・ 安全な 教育環境の 充実	⑭ 文化教養 施設・体 育施設の 整備充実	1 施設の長寿 命化	博物館	・ガス系消火設備点検と呼び出し設備整備は当初計画からずれ込んだが点検と設置を行った。 ・クロス張り替は、前倒して執行した。	B	B	<p>・計画していた工事及び修繕業務を予定通り完了した。利用者が安全・安心に活動ができるよう施設等の整備充実を図ることができた。</p> <p>【課題】 施設の老朽化が進んでおり、長寿命化計画・脱炭素化計画に基づき、施設の整備を行う必要がある。改修等のため休館等を余儀なくされることが多くなってきているが、求められる役割と機能を果たしていく必要がある。</p>
		2 体育施設の 整備・充実 (陸上競技 場・温水 プール改修 等)	社会教育課	・関金総合運動公園芝生散水用ポンプの取替えを完了し、天然芝生を適切に管理することができた。 ・市営温水プール塗装工事を完了し、長寿命化を図ることができた。 ・駐車場区画線、テニスコート人工芝の修繕により、利用者の安全・安心を確保することができた。 【課題】 ・長寿命化を図るため、指定管理者と連携し、施設の老朽化に伴う、修繕箇所等の早期発見に努める必要がある。	B		
		3 倉吉交流 プラザの長 寿命化	図書館	・視聴覚ホール可動席改修、空調設備改修工事基本設計業務は完了した。倉吉交流プラザ照明設備LED化改修は、工程どおり進捗。 【課題】 引き続き、長寿命化計画・脱炭素化計画に基づき、施設の整備を行う必要がある。空調設備の改修方式の決定及び工事休館期間の運営体制について検討必要。	B		
4 たくましく 健やかな 心と 体づくりの 推進	⑮ 人権尊重 社会の担 い手づくり	1 「学校教育 における人 権教育の方 針」に基づく 人権教育の 推進	学校教育課	・生命の安全教育を昨年度に続き実施し、各学校教職員への周知啓発に努めた。	A	B	<p>【全国学力学習状況調査】 ・「自分にはよいところがあると思う」と回答 小学校:87.9%(R6:86.1%) 中学校:86.1%(R6:86.0%) ・「学校に行くのは楽しい」と回答 小学校:86.5%(R6:84.0%) 中学校:83.4%(R6:79.3%) ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答 小学校:98.4%(R6:97.7%) 中学校:95.3%(R6:94.2%)</p> <p>・授業時間以外でタブレットを勉強のために活用している(遊び以外)児童生徒の率(1日30分以上) 小:43.8%(R6:47.8%) 中:28.7%(R6:43.5%) 【課題】生成AIが活用できるようになったことも含め、改めて情報モラルについての研修会が必要。</p>
		2 倉吉市学校 教育における 人権学習 関連教材の 実践	学校教育課	・重点共通教材の指導案が3本完成した。 ・「未来へのパスポート」が市内全校で実施された。	A		
		3 よりよい学 校生活と友 だちづくり のためのア ンケートの 活用、相談 体制の充実	学校教育課	・市内小中学校の小学校3年生から中学校3年生がhyper-QUを実施し、各校にて結果を分析、その後の指導等に活かした。	B		
		4 いじめを許 さない学校 体制づくり	学校教育課	・生徒支援委員会にSSWrが参加。 ・いじめ事案について各学校にて組織的対応を実施。 ・倉吉市青少年問題対策協議会を2回実施し、不登校、問題行動等対策について協議。	B		
		5 情報モラル 教育の推進	学校教育課	セキュリティを回避するための拡張機能を勝手にインストールして、本来はアクセスできないサイトにアクセスした事案が1件発生。 県教委とやりとりし、 ①chromeブラウザの拡張機能のインストール禁止、 ②インストールされた拡張機能の無効化を図る対応を行った。	B		

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
4 たくましく 健やかな心と 体づくりの 推進	⑩ たくましい 体の育成	1 健やかな心 と体の育成	学校教育 課	<ul style="list-style-type: none"> 各学校にて体力向上推進に向けた取組を実施。 課題であった長座体前屈の結果については中学2年男子を除き、全国・県平均より高い結果となった。 薬物乱用防止教室及び性に関する指導講座については各学校が実施した。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 新体カテストの結果でおおむね良しと判定される児童生徒の割合 小学生R5:75.1% R6:72.6% R7:72.8% 中学生R5:67.9% R6:69.4% R7:70.4% 計画の通り、各教室や交流大会を実施することができた。また、昨年同様に、誰でも参加できるユニバーサル・スポーツフェスタでは、体を鍛えることではなく、自分の体をバランス良く動かすことにより、基礎体力の向上など、たくましい体の育成を図ることができた。 【課題】 運動部活動の参加者減少や活動時間の制限など運動する機会が減少し運動する子としない子の差が大きくなっている。生涯にわたってスポーツに親しむために継続的な運動経験や運動への関心を高める必要がある。
		2 中学校部活 活動地域連携 地域移行	社会教育 課	<ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動地域展開等に向け、更に議論を進めるため、推進協議会を設立した。(推進会議1回、推進協議会2回開催) 【課題】 ・地域展開等における課題等について、今後具体的に検討していくため、既存のクラブチーム等の実態と運営方法の把握が必要。 	B		
		3 子どもの年 齢に応じた 体力づくり の推進	社会教育 課	<ul style="list-style-type: none"> <体育施設各教室> 温水プール指定管理者による各年齢に合わせた水泳教室を、工事のため4月から9月の半年間ではあったが、実施することができた。 【課題】 ・施設の老朽化により、例年工事のため休館する必要があり、年間を通して教室等が実施できない。 <スポ少> ・スポ少交流会(野球、バスケットボール、バレーボール)を実施し、スポーツに親しむ環境を作ることができた。 【課題】 4～5月の大会日程の調整が難しい。特に野球は会場確保が困難。郡部を含めた中部地区の軟式野球関係者と事前調整を行うなどの検討も必要。 	B		
⑪ 学校給食 の充実、 食育の推 進	1 栄養教諭な どによる学 校での食に 関する指導	学校給食 センター	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画表に基づき、給食主任や学級担任と連携し、栄養教諭と学校栄養職員が小中学校全学級を対象に食に関する指導を行った。 ・学校保健委員会の際に、その学校の現状を伝える資料を提供し、各家庭にも情報提供されるよう働きかけを行った。 ・学校給食週間行事は予定どおり実施し、広く取組みを紹介した。 【課題】なし。取組みは計画どおり実施できた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導は、令和6年度よりも訪問回数を増やすことができた。 ・令和6年度に始めたブックメニュー給食を引き続き実施し、食育と読書が繋がることで、どちらにも興味を持ってもらえるよう働きかけを行った。市立図書館や学校図書室では、関連展示の協力も得られた。 【課題】 ・学校給食の残食率が小・中学校とも年々高くなっており、特に中学校は学校による差が大きく、栄養教諭が学校に現状を伝えるようにしている。 	
	2 親子で学ぶ 食の教室の 実施	学校給食 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の1年生児童とその保護者を対象に、学級ごとに開催した。保護者アンケートの結果は、概ね好評であった。 【課題】なし。取組みを継続していく。 	B			

令和7年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績と評価

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価
4 たくましく健やかな心と 体づくりの推進	⑮	体育・スポーツの 振興	1	<p>スポーツ活動支援</p> <p>社会教育課</p> <p><スポーツ大会> ・全18競技が予定どおり開催できた。 【課題】 2競技中止となった令和6年度と同程度の参加者数であり、全体の参加者数は減少傾向。周知や参加呼びかけの方法を工夫するなど、今後の検討が必要。 <スポーツ表彰> ・計画どおり実施できた。 ・令和6年度に比べ、個人、団体ともに受賞者が減少(個人60人、団体11団体減)したため、表彰式の受賞者参加数も71人(R6:117人)と減少した。 【課題】 ・毎年開催しているも、事前準備等で改善点が多く見られた。マニュアルのさらなるアップデートを進める必要がある。 ・中学生のイベントと重ならないよう開催日を調整したが、大会等と重なるなど、受賞者参加数の増加にはつながらなかった。 <スポ少指導者育成> ・計画どおり指導者講習会等を実施できた。 【課題】 資格更新に係る研修(4年間に1回の受講が必要)の受講漏れが散見されるため、県スポーツ協会との情報共有と周知を行う必要がある。</p>	B	B	<p>・当初の計画通り、各種スポーツ活動機会の充実・スポーツ団体の育成、研修会を実施し、生涯にわたって主体的にスポーツを楽しめる環境を整え、各団体と連携し、心身の健康や体力の向上に努め、スポーツの振興を図ることができた。 【課題】 依然として、運動実施率が目標値に達していない状況である。更に誰もが気軽にスポーツに親しむ環境づくりが必要。</p>
			2	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>社会教育課</p> <p>・全国高等学校総合体育大会の自転車競技において、駐車場などの運営を行い、混乱なく運営することができた。 ・計画通り実技研修や講習会を実施し、委員の資質向上を図った。 【課題】 ・参加するスポーツ推進委員の固定化が見られ、スポーツ推進委員全員での協力が必要である。</p>	B		

項目	重点施策 (基本施策から)	主な施策	担当課	実績	実績 評価	施策 評価	最終 評価	
5 文化資源の保存活用と文化・芸術の振興	⑱	倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	1	地域の人・もの・ことと触れあふるさとキャリア教育の推進 学校教育課	・倉吉学習(小学校)において、事前に教員に対しての研修を行い、教材研究の一助とした。 ・ふれあいホリデーについて。関係課等と連携を図りながら、予定どおり試行を実施した。試行後アンケートの結果分析、関係各所等の協議等を踏まえ、次年度以降の方向性を定めた。 ・倉吉学習の問題を改訂し、生徒が理解しやすい内容とした。各中学校にて実施。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉学習では、文化財課、博物館とも連携し、実際に史跡や昔の道具等を見ながら、学習を進めることができた。 ・ふれあいホリデーについて2年目の試行を予定どおり実施することができた。試行後アンケート結果、関係各所との協議等も踏まえ、次年度の方向性を定めることができた。 【課題】 今後、保護者、関係各所との丁寧な対話を進め、令和9年度の実施について検討を進める ・倉吉学検定 R6平均点:44点 R7平均点:44点
			2	小中学生リーダー会議 学校教育課	・リーダー会議報告会を実施。各学校の取組から「地域の良さを活かす」「人との関わり」を重視する取組の広がりが伺えた。	B		
	⑳	文化財の保存、活用、伝承	1	指定文化財等の防災・防犯等適切な保護管理 博物館	・指定文化財並びに収蔵資料の適切な保全・保管に努めた。 ・指定文化財等の燻蒸は9月に実施した。 ・県指定考古資料(大御堂廃寺跡出土品・人物埴輪)の補修を補助金を活用して実施した。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県指定考古資料及び民俗資料、市指定美術資料を後世に伝え残すため、適切な保存に努めるとともに資料の価値や歴史的背景を伝える講座の開設も行った。 【課題】 指定文化財のうち劣化・汚損等の状況を把握し適切な修復を進める。
			2	指定文化財等の展示・文化財を核とする講座の開設 博物館	・国指定重要文化財(3件)並びに県市展保護文化財(6件)を通年常設展示した。民俗資料のうち、国指定の鑄物師資料、登録の稲扱千歯、倉吉餅の展示も常設した。 ・国指定の子持壺資料並びに倉吉餅を取り上げた博物館講座も実施した。	B		
			3	学校教育・社会教育との連携 学校教育課 社会教育課	・夏休み子ども体験教室では、はこた人形工房の協力を得て、無形民俗文化財である人形の歴史、つくり方、模様に入められた意味について小学生6名が学んだ。 ・地区コミュニティセンターにおいて、文化財や歴史文化を学ぶ各種事業が実施された。 【課題】 今後も文化財について学ぶ機会を文化財課、博物館及び関係団体等と連携をとりながら創出していくことが必要である。	B		

5 教育委員会の主な動向

(1) 教育長・教育委員の在任状況

(R8.3.31現在)

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期	保護者
教育長	中田 寛	62	R 6.10.3	R 9.10.2	
教育長職務代理者	田民 義和	68	R 6.10.5	R 10.10.4	
委員	高橋 義博	63	R 4.1.1	R 7.4.30	
委員	伊木 香代	61	R 5.7.4	R 8.10.7	
委員	徳丸 桃子	39	R 5.10.5	R 9.10.4	○
委員	梅田 雅彦	62	R 7.7.1	R 11.12.31	

①委員の異動(市長が任命)

令和7年4月30日付で高橋義博委員が辞任された。

令和7年7月1日付で梅田雅彦委員が就任された。

令和8年1月1日付で梅田雅彦委員が再任された。

(2) 教育委員会の会議

(R7.4.1~R8.3.31)

会議名	回数	備考
教育委員会	14	議案22件、協議事項18件、報告事項171件

(3) 教育委員会の開催状況

4月23日第5回定例会

議案(1件)	議案第11号 倉吉市教育委員会委員の辞職の同意について
協議事項(4件)	第4期倉吉市教育振興基本計画の「教育理念」及び「教育目標(基本方針)」の決定について 第4期倉吉市教育振興基本計画の倉吉教育の現状と課題について 令和6年度倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価(案)について 令和7年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画(案)について
報告事項(14件)	教育長報告ほか13件

5月21日第6回定例会

議案(2件)	議案第12号 学校薬剤師の変更について 議案第13号 令和6年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
協議事項(2件)	第4期倉吉市教育振興基本計画の「教育理念」及び「教育目標(基本方針)」の決定について 倉吉市立小・中学校の適正配置検討に係るキックオフについて
報告事項(14件)	教育長報告ほか13件

6月26日第7回定例会

報告事項(17件) 教育長報告ほか16件

7月23日第8回定例会

報告事項(13件) 教育長報告ほか12件

8月19日第9回定例会

議案(2件) 議案第14号 令和7年度教育費補正予算について
議案第15号 施設整備に関する工事計画の策定について

報告事項(16件) 教育長報告ほか15件

9月17日第10回定例会

協議事項(1件) 令和8年度当初予算要求に向けて

報告事項(16件) 教育長報告ほか15件

10月24日第11回臨時会

議案(1件) 議案第16号 市立小学校教職員の処分について

10月29日第12回定例会

協議事項(2件) 令和7年度倉吉市教育委員会重点施策実施状況(中間報告)について
令和8年度当初予算要求について

報告事項(13件) 教育長報告ほか12件

11月27日第13回定例会

議案(2件) 議案第17号 令和7年度 教育費補正予算について
議案第18号 倉吉市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部改正について

協議事項(3件) 倉吉市教育大綱(案)について
第4期倉吉市振興計画案について
(スケジュールの変更、点検及び評価方法)
令和7年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について

報告事項(13件) 教育長報告ほか12件

12月24日第14回定例会

協議事項(3件) 倉吉市教育大綱(案)について
第4期倉吉市教育振興基本計画(案)について
令和7年度倉吉市教育委員会表彰について

報告事項(19件) 教育長報告ほか18件

1月28日第1回定例会

協議事項(1件) 第4期倉吉市教育振興基本計画(案)について

報告事項(15件) 教育長報告ほか14件

2月17日第2回定例会

- | | |
|-----------|---|
| 議案(1件) | 議案第1号 令和8年度 倉吉市教育委員会当初予算について |
| 協議事項(2件) | 令和8年度ふれあいホリデーについて
業務量管理・健康確保措置実施計画について |
| 報告事項(10件) | 倉吉市教育大綱(案)について
教育長報告ほか8件 |

3月11日第3回臨時会

- | | |
|--------|---|
| 議案(2件) | 議案第2号 第4期倉吉市教育振興基本計画の策定について
議案第3号 令和7年度末倉吉市学校教職員人事異動について |
|--------|---|

3月25日第4回定例会

- | | |
|-----------|--|
| 議案(11件) | 議案第4号 倉吉市学校運営協議会規則の制定について
議案第5号 倉吉市教育委員会事務局等組織規則の一部改正について
議案第6号 倉吉市立小学校及び中学校管理規則の一部改正について
議案第7号 倉吉市立学校事務職員の標準的な職務の内容及び職務の遂行に関する要綱の一部改正について
議案第8号 倉吉市立学校教職員の自家用車の公務使用に関する取扱規程の一部改正について
議案第9号 倉吉市学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について
議案第10号 倉吉市立学校教職員業務量管理・健康確保措置実施計画について
議案第11号 令和8年度倉吉市教育行政各基本施策重点事業について
議案第12号 令和8年度倉吉市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
議案第13号 市立中学校教職員の処分について
議案第14号 財産の取得に係る意見の申し出について(タブレット購入) |
| 報告事項(11件) | 第3期倉吉市教育振興基本計画基本施策評価シート(新様式)について
教育長報告ほか9件 |

(4) 総合教育会議の開催状況

5月21日第1回倉吉市総合教育会議

- | | |
|----------|---|
| 協議事項(3件) | 「非認知能力」の視点を大切にした学力向上について
講師 鳥取県教育委員会事務局中部教育局
学校教育担当 青木 慎吾 指導主事
「非認知能力」の視点を大切にした学力向上に係る倉吉市の取組について
「倉吉市こども計画」の策定について
「倉吉市教育に関する施策の大綱」の策定について |
| 報告事項(2件) | 令和6年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
令和7年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について |

12月24日第2回倉吉市総合教育会議

協議事項(2件) 県立美術館がもたらす教育効果や今後のさらなる連携による可能性について
 講師:鳥取県立美術館 佐藤 真菜 専門員
 (テーマ:アート・ラーニング・ラボの挑戦~実践の現場から~)
 「倉吉市教育に関する施策の大綱」の策定について

3月19日第3回倉吉市総合教育会議

協議事項(1件) 業務量管理・健康確保措置実施計画について

(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加

① 学校計画訪問

R7.7.7	西中学校
R7.7.17	久米中学校
R7.9.19	河北小学校
R7.9.30	打吹小学校

R7.10.28	西郷小学校
R7.11.11	社小学校
R7.11.18	鴨川中学校

② 諸行事への出席

R7.4.2	宣誓式
R7.4.5	「いいものが見つかるかも ぐらはくコレクション展」開会式
R7.4.11	倉吉市立中学校入学式
R7.5.12	令和7年度第1回倉吉市小中学生リーダー会議
R7.5.17 R7.5.24	小学校運動会
R.7.5.21	令和7年度第1回倉吉市総合教育会議
R7.5.28	東伯地区・倉吉市教育委員会合同研修会
R7.6.15	倉吉市美術展覧会開会式
R7.7.6	倉吉市美術展覧会表彰式
R7.7.10	令和6年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会第2回理事会・定期総会・研究大会
R7.10.11	中学校運動会
R7.12.18	令和7年度打吹公園だんご教育奨励賞選考委員会
R7.12.24	令和7年度第2回倉吉市総合教育会議
R8.1.3	令和8年倉吉市はたちのつどい
R8.1.26~ 29	倉吉市学校給食週間優秀表彰式・会食(該当校のみ)
R8.1.30	令和7年度第2回倉吉市小中学生リーダー会議
R8.1.31	令和7年度市町村(学校組合)教育委員会委員・教育長等研修会
R8.2.7	倉吉市スポーツ協会スポーツ表彰表彰式
R8.2.10	令和7年度打吹公園だんご教育奨励賞・倉吉市教育委員会表彰表彰式
R8.2.21	第70回倉吉文芸表彰式

R8.3.1	第14回山上憶良短歌賞表彰式
R8.3.1	鼎談 永田和宏・淳・紅「家族の歌」
R8.3.10	中学校卒業式
R8.3.15	倉吉市創作文華展表彰式
R8.3.19	小学校卒業式
R8.3.19	令和7年度第3回倉吉市総合教育会議